

# HIRATSUKA KYOUKAIHO

No.268

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会 平塚支部  
発行責任者：小山 祐司



## 新年を迎えて

(公社)神奈川労務安全衛生協会  
平塚支部  
支部長 鈴木 治  
〈古河電気工業(株)平塚事業所〉



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より当協会の運営、各種事業に対するご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。また、平塚労働基準監督署をはじめ、関係官庁、諸団体ならびに会員事業場の皆様には、厳しい状況での令和3年度の事業計画推進に多大なるご尽力を賜りましたことに、重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスは変異しながら欧米を中心に収まる気配もなく、国内ではワクチンの高い接種率により一旦落ち着きを取り戻したものの、社会・経済のいたる所に傷跡を残しています。

そのような中、昨年の労働災害の状況に目を向けますと、わが神奈川県では休業4日以上死傷者数が令和2年度比で2割を超える増加となりました。業種別にみまると、建設業では減ったものの保健衛生業や貨物運送業で顕著に増えています。ご推察の通り、これは新型コロナ対応による社会・経済の行動変化に起因するとみていいでしょう。

さて、私が本年進めたいと考えていることは「健康は『和』で守ろう」です。

感染対策として、私たちはマスク着用・手指消毒・手洗い、3密回避を頑なに守り、多くの人がワクチンを接種してきました。そうしてリモートワークが増え、会合が減り、世間話や身上などの話を交わす機会が減っていく中で、生活習慣の変化に由来する体調悪化がやがてダメージを与えます。「転倒」事故が多いのもここに一因があるかもしれません。

ではどうするのかというと、生活にもういちど「和」を取り戻す。食事は和風を取り入れ、仕事では和、即ち話し合いを意識し、孤立させない。社会では健全と思えるルールは皆で守っていく、ということです。なぜ日本はコロナで亡くなる人が海外に比べて「桁違いに」少ないかというと、この「和」の要素がすでにあるからだと思います。これは大きなアドバンテージだと考えて前に進んでいいのではないのでしょうか。

かつて健康は個人の責任と突き放されてきた感がありますが、管理者には安全配慮義務とともに、健康配慮義務あることを念頭に新しい時代の安全衛生を「和」で進めていきましょう。

平塚支部としましても、いろいろな機会を通じて、遅れることなく皆様に情報を提供してまいりますので、本年もご理解ご支援の程、何卒宜しくお願い致します。

結びに、会員事業場の皆様のご発展とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



# 新年のごあいさつ

平塚労働基準監督署

署長 平本 賢一

新年明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から(公社)神奈川労務安全衛生協会平塚支部及び会員事業場の皆様方には当署の行政運営に多大なご理解とご協力を賜っていることに対して、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年中の神奈川県内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しいものとなりましたが、秋口から、一部弱さはみられるものの、緩やかに持ち直しつつあるという景況感となり、景気、雇用情勢ともに持ち直しに向けた動きもみられるようになってきました。

一方、昨年1月からの当署管内の労働災害発生状況は、死亡災害ゼロを継続するという素晴らしい結果となっておりますが、休業4日以上死傷災害は422人(10月末現在)と前年同期比で83人、24.5%もの増加となっており、これは新型コロナウイルス感染症によるものを除いたとしても大幅な増加で、非常に厳しい状況でございます。

今年は第13次労働災害防止推進計画(平成30年～令和4年)の最終年に当たりますので、当署ではこれまでの取組を検証し、その結果を次年度の計画の取組に反映させて、『死亡災害ゼロの継続と休業4日以上死傷災害を基準年から5%以上減少させる(411人以下とする)』という目標の達成に向けた各種施策を強く進

めていく必要がございます。

そのために、施策の推進にはしっかりと工夫を凝らし、例えば、「転倒災害の防止」については、「滑って転倒することを防止するために」、「墜落・転落災害の防止」については、「脚立からの墜落を防止するために」など、より具体的に的を絞って、何に注意し、どうすればよいのかということを発信することで、各人の取組の促進と安全意識全体の高揚を図っていきたいと考えております。

また、同時に「高齢労働者に配慮した労働安全衛生対策」や「病気の治療と仕事の両立支援」など待ったなしの社会状況に応じた安全衛生対策への取組も重要な課題として考えております。

さらに、労働基準行政の大きな柱となっている「働き方改革」の普及促進、長時間労働削減のための適正な労働時間管理対策や長時間労働者に対する健康管理措置対策についてもさらに注力していく必要がございます。

これら各種施策の推進と実現に向けて、本年も引き続き会員の皆様方のご協力を賜りたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員事業場のますますのご発展と今年が無災害で幸多き年になりますよう心より祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和4年 年間標語

**全員で 目をかけ 声かけ 意識して 目指そう安全・健康職場**

## 安全衛生祈願

令和4年1月14日(金)、神奈川県労働安全衛生協会平塚支部年頭の恒例行事である安全衛生祈願が青空の下、秦野市平沢の出雲大社相模分祠にて行われました。今年も来賓として平塚労働基準監督署から平本署長様、林安全衛生課長様をお招きし、鈴木支部長、3副支部長並びに3部会長・事務局をはじめ当協会選任講師の三瓶様、各会員事業所より35名の方が参集しました。

拝殿内では宮司様の祈願、巫女の舞の後、玉串奉奠を執り行い、全員で1年間の安全と健康・コロナの終息を祈願しました。その後は昨年同様、3密になることを避けるため記念写真を撮り散会となりました。

経営首脳者セミナーにつきましては、鈴木支部長の挨拶、平塚労働基準監督署平本署長様のご挨拶、神奈川県労働局井上労働基準部長様の行政講演、北里大学医学部武藤様の特別公演、テーマ「治療と仕事の両立支援と、コロナ時代の事業場環境整

備」-企業が、普段からできる備えとは-は令和4年1月14日(金)から1月28日(金)までの2週間オンデマンド配信となりましたので、各自で視聴をください。

来年こそはコロナが終息して3密を気にする事なく、会場にて経営首脳者セミナー・懇親会に参加出来たらと思います。



## 令和3年度 神奈川県労働安全衛生功労賞 表彰者

No.	事業場名	氏名
1	横浜ゴム株式会社 平塚製造所	西村 清之
2	高周波熱錬株式会社	天利 信夫
3	日産車体株式会社	大窪 博文
4	日産車体株式会社	柳澤 敏明



## 健やかで希望のある一年になりますように

日本クロージャー(株) 平塚工場 健康支援室 山田 成美

新年あけましておめでとうございます。

2022年がやってきました。

2020年・2021年と新型コロナウイルス感染拡大で、働き方や日常生活が大きく変化し、さまざまな影響やストレスを受けた2年間だったのではないのでしょうか。

急激な変化に対応しながら、心身の健康を保つことは容易ではなかったと思います。

2022年もWithコロナとして、私たちは対策をとりなが

ら、いろいろな変化に対応しつつ健康を維持しなければならないでしょう。

そんな中でも、「少しでも、穏やかな日々が過ごせる一年」であって欲しいと願っています。楽しく、心地よいと感じられることを少しずつ再開し、人とのつながりを大切にしながら生活できる日常が、一日でも早く戻りますように。

そして、健やかで希望のある一年になりますように。

2022年、皆さんはどんな一年を願いますか。



## 雑感

# 『新入社員への講話 ～“英雄の哲学”から学んだこと～』

株式会社コベルコ マテリアル銅管 井原 幸三

「一年の計は元旦にあり」とよく言われます。社員になり二十数年経った私も毎年、少なからず「今年は目標を達成するぞ」と計画を立てるものですが、恥ずかしながら達成できたことは数少ないのが現実です。

一方、社員にとって毎年4月は、新年度を迎えるという事で意味深いものです。私は新入社員時から今日まで人事・労働業務に携わってきており、毎年4月は新入社員を迎えてきました。フレッシュな新入社員を目の当たりにすると、自戒の念を込め、自分自身も気を引き締めないといけないと思う次第です。仕事柄、毎年新入社員に対し、「社会人とは」「仕事をしていく上で大切なこと」など、講話を行っています。

世の中には自己啓発や処世術、偉人の伝記など様々な本があります。今から約15～6年前に、ある本を読みました。それは、「英雄の哲学」という本です。この本は、稀代を代表するスーパースター、野球界を代表するイチロー選手と、音楽界を代表する矢沢永吉さんの対談集です。この本は、世界を極めた二人が、人生を振り返りながら、仕事へのこだわりや夢を持つ事の大切さなどについて書かれたものです。

その本の中では、純粹に、野球が、音楽が、好きであること、色んな困難があっても好きだから乗り越えられる、だからこそ、日々のトレーニングを怠らない、基本を継続することの大切さなどが書かれています。これはスーパースターだからできるのではなく、スーパースターですら努力を惜しまないということ。この本を読み返す度に、反省とまた目標を持って取り組む勇気を貰っています。

新入社員には、いつも講話では「物事を極めるには純粹に好きになること」、「趣味でも、恋愛でも、何でも良い。好きになろう!」、「純粹に、好きだからがんばれる!そう、思わない?」、「仕事や技術を極めることも同じ!」、そのためには、「日々のトレーニングが大切!」、「仕事では自分に重荷を課す、やってみてダメだ(できない)と思うことと、最初からダメ(できない)と思うことは全く違う!」と話しをします。

少年時代に野球をやっており、また永ちゃんファンの私にとっては夢の対談。この本に限らず、一、社会人・社員として、新入社員や後輩に、「純粹に、仕事がんばっていきましょう!」とこれからも伝えていきたいと思えます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## 神社仏閣めぐりから… 平塚八幡宮

奈良・平安の時代より、藤沢から平塚を通り小田原や箱根までは「相模國」と呼ばれていました。この地の安寧や平安を祈って建立された代表的な神社が「相模國六社」と呼ばれています。寒川神社、川勾(かわわ)神社、比々多神社、前鳥神社、平塚八幡宮、六所神社です。今回は平塚市街地の中心に鎮座している平塚八幡宮について少しご紹介させていただきます。



380年(今から1641年以上も前)に第16代仁徳天皇により創祀(そうし)されたとき、その後歴代の天皇や源頼朝を始めとした武士からも崇敬されてきました。戦国時代の戦禍で当時の建物などは焼失しましたが、その後徳川家康に

より再建されました。平塚は東海道が近くまた厚木や大山への交通の要所であった為に、商業を中心に発展してきましたが、人々を見守ってくれる平塚八幡宮は皆から親しまれて現在に至っています。令和の今も大晦日から初詣を皮切りに1年を通して様々な神事や祭事が執り行われており、境内はいつも市民の方々と賑わっています。また、県外からは「御朱印」を求める参拝者も数多く訪ねて来られるようです。因みにこの御朱印に記されている「鎮地大神」は、推古天皇(第33代)より賜ったとの事でした。一歩足を踏み入ると市街地の中心とは思えない静けさに包まれます。昨今「パワースポット」と称される場所がありますが、平塚市ではまさにここもその1つ。何かと疲れがちな今、一度足を運んでみてはどうでしょうか?

株式会社KELK 西久保 記



## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年は皆様にとって穏やかな一年であること願っております。さて、昨年はアメリカ大統領の交代劇から始まり、新型コロナワクチン接種開始、東日本大震災から10年、プロゴルファー松山選手のマスターズ初制覇など様々なことがありました。特に印象に残っているのはコロナ禍で開催が一年延期となった東京オリンピックで今でも各国の選手が自力を尽くして挑む姿と達成されたときの笑顔です。開催について

は賛否両論ありましたが私はアスリートの方々のごうした姿が報道を通じて観られて良かったと感じています。

一方、新型コロナウイルス感染症は世界に大きなダメージを与え、日本でも延べ172万人を超える感染者数を記録して、現在もまだ余談を許さない状況です。一人一人の行動でこれ以上の感染を防ぎ、楽しく活動できる2022年となりますよう願っています。

改めて今年は世界的な環境変革を進める一年になると思います。皆様におきましてでもできること、やれることを実行し、自慢できる平塚地区、神奈川県となるよう意識して過ごしていきましょう。日鍛バルブ(株) 前野 記